

平成 31 年 4 月 1 日  
ハイデルベルグ・ジャパン株式会社  
ライフサイクルオペレーションズ本部

カスタマーケアセンター  
災害対応ダイヤル  
電話番号 0570-666-431  
IP 電話対応 03-5715-7248  
ファックス番号 03-5715-7190  
メールアドレス [shi.svsupport@heidelberg.com](mailto:shi.svsupport@heidelberg.com)

## 災害時における製品の取り扱いについて プリネクト製品

地震、水害をはじめとする自然災害、ならびに事後の計画停電においては、人的、資産的な被害や、事業の中断など、様々な事態が生じるおそれがあります。  
ご利用中のハイデルベルグ製品の被害、または製品に起因する被害を最小限に留めるため、下記内容のご対応をいただけますよう、よろしくお願いいたします。  
なお、本書面の記載事項は、災害の事前対策ならびに発生時対応の参考としていただくものであり、復旧を保証するものではありません。

### 1: 災害前の備え

各種災害時には停電が伴う場合が多く見受けられますが、プリネクト製品が稼働する PC/サーバーが停電によって稼働中に突然停止した場合、PC/サーバーの故障や OS、プリネクトのソフトが立ち上がらない、プリネクトの重要データの喪失といった重大なトラブルの原因となります。  
そのため、可能な限り停電発生前にプリネクトの PC/サーバーのシャットダウン(停止)することが重要です。これにより電力復旧後の予期せぬトラブルも回避することができます。  
日頃より各設備の電源切断の手順を確認し、緊急時に速やかに停止作業を行えるよう準備しておきましょう。

### 2: 災害直後の対応

製品稼働中に災害、停電が発生した場合、製品自体の電源に加え、ネットワーク機器なども通常とは異なる状態で停止していると思われます。その後、そのまま製品を稼働してしまうことでより大きなトラブルに繋がる可能性がありますので、下記のご確認をいただけますようお願いいたします。

- ・ 震災時、プリネクト製品においては PC/サーバー本体やキーボード、マウス、モニターなどの転倒、落下が考えられます。PC/サーバーなどが転倒していた場合は元に戻します。また、ケーブルの抜けや断線などがないか、状況を確認してください。
- ・ ハイデルベルグ製品以外ではネットワークケーブル、ネットワーク機器であるハブ、ルーター、社内の他のサーバー、外部インターネットへの接続状況にも被害、影響が及ぶことが考えられます。これらの状況を確認することが重要になります。

- ・ 水害時には、事後の通電により火災などが生じる可能性があります。製品が水没、水かぶりした場合には、通電を行わず、ハイデルベルグへご連絡ください。

### 2-1: 通電時の確認作業

電力が復帰したあとは、エアコンなども復帰して室内温度が一定になった後に、PC/サーバーの電源を1度入れてみましょう。テスタ(電圧計)などで確認をしながら進めるとより確実です。電圧がない場合は元のブレーカーが落ちていることも考えられます。

電源投入後、ファンから異音が出ていないかを確認してください。  
ウィンドウズ画面から、正しくプリネクトにログインできるか確認してください。

### 2-2: 通電後の確認作業

接続されている隣のプリネクトPC/サーバーがネットワーク(LAN)経由で見えるか確認してください。次にインターネット(WAN)経由でハイデルベルグのリモートサービスサイトにアクセスできるか確認してください。

すべてのプリネクトが立ち上がり、コックピットが立ち上がれば、接続されているハードウェア(CtP や印刷機など)の接続を順次確認してみましょう。

データを周辺機器に送るのは個々の周辺機器の状態を確認してからになります。

## 3: 計画停電

災害発生時には、電力会社により大規模な停電が計画・実施される可能性があります。最悪の場合に備え、プリネクトの重要な情報データのバックアップシステムを構築したり、UPS 無停電電源装置を用意して意図しない突発的な停電がプリネクトシステムに影響を及ぼさないように事前の準備が重要です。

電力が復帰した後は 前述 2:【災害直後の対応】以降の記述を参照ください。  
上記作業において問題が発生した場合は、弊社カスタマーケアセンターまでご連絡をお願いします。